

# 日本共産党

## 磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp  
 川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415  
 吉田 容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446  
 森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570  
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

# ”庶民に増税 自分は“蓄財”？

国民の税金である政党助成金（年交付総額約320億円）を受け取っている民主、自民、公明など日本共産党以外の政党が、余っても国庫に返納せず「政党基金」としてため込んでいます。交付総額の8割に当たるため込みの年もあり、国民に「復興増税」を押し付けながら、血税を“蓄財”している政党の姿勢が問われています。

政党助成金は毎年、総務省に受け取りの請求をした政党（2011年は民主、自民、公明、社民、みんな、国民新、新党日本、新党改革、たちあがれ日本の9党）に議員数や国政選挙での得票数に応じて交付されています。政党助成法では、その年に使わなかった政党助成金は国庫に返納するのが原則です。しかし、受け取り政党は「政党基金」とすれば翌年に積み立てることができるとした抜け道を利用してため込み、それを国政選挙がある年などに取り崩して支出してきました。

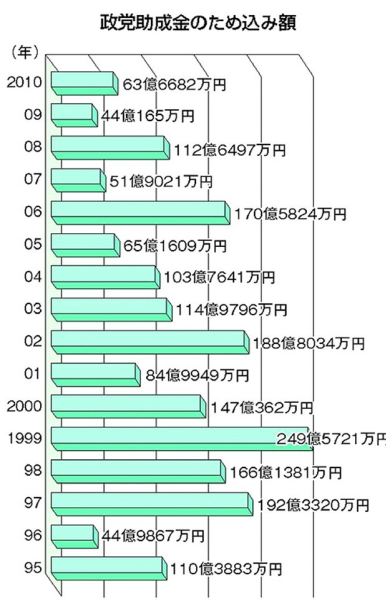
助成制度の始まった1995年以降、毎年億単位のため込みが行われてきました。単年でのため込み総額の最多は99年の249億5721万円で、同年の政党助成金交付総額の79.5%に当たります。交付総額に対するため込み分の割合は、95〜2010年の16年間の平均で38%です。

政党助成金は、支持政党にかかわらず国民の税金を各党に配

政党助成金 ため込む各党  
 日本共産党は受け取らず

分するもので、日本共産党は、憲法が保障する思想・信条の自由を侵すとして一貫して撤廃を主張し、受け取っていません。

民主、自民、公明などは国民に所得税などの「復興増税」や消費税増税を押し付けるために「国会議員も身を切る」などといったしていますが、政党助成金を返上しようとはしていません。



衆院選挙制度 比例中心の制度に改革し その中で1票格差是正を 志位委員長が主張

日本共産党の志位和夫委員長は、14日の記者会見で、民主党から参加を呼びかけられた「衆院選挙制度に関する各党協議会（仮称）」について、「現行の小選挙区比例代表並立制の枠内で『1票の格差』是正をやるというのではなく、選挙制度そのものを民意を一番正確に反映する比例代表制を中心とした制度に抜本的に改革し、その中で『1票の格差』是正をきちんとはやるべきだ」と強調しました。

志位氏は「現行制度そのものが大変な弊害と反民主的な害悪を生んでいることがはつきりしてきている」として、小選挙区制が民意を正確に反映せず、大政党内に民意をゆがめている。政治にさまざまな劣化現象を引き起こしている。人口移動により「1票の格差」がたえず生まれるをあげました。

テレビ討論会でも民主党、自民党以外の政党代表から「比例代表中心の方向に選挙制度を変えるべきだ」との主張が相次いだことを指摘し、「小選挙区制の部分だけでつじつまを合わせるのではなく、選挙制度そのものを大本から見直し、国民的な議論のそじょうにのせて行うべきだ」と述べました。

2011年10月05日(土)「しんぶん赤旗」

ウォール街デモ 米メデイア報道に変化 若者らの要求に焦点

【ニューヨーク=田中一郎】格差是正などを求めるウォール街などでの抗議デモ

東日本地震への 救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。

【郵便振替口座】  
 0017007198422  
 名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。「ご協力よろしくお願ひします。」

磯城郡日本共産党議員団

米紙ニューヨーク・タイムズは、9日付社説で、失業増や格差拡大への抗議といった若者らの主張を取り上げ、「問題は政府側が（これら主張に）耳を傾けてこなかったことだ」と批判しました。

各種メディアによる報道の量も増加。米国のテレビや新聞など52報道機関が、テーマごとに、どれだけの紙面や時間を割いたかを調査している米調査機関「ピューリサーチ・センター」の調査では、3〜9日の週でウォール街デモ関連が7%に達しました。

その前の週と比較して4倍増。この増え方は、草の根保守運動「ティーパーティー（茶会）」運動が始まった段階にあたる2009年4月中旬と同水準といえます。

これらの数字を報じたニューヨーク・タイムズ（13日付）は、当初はデモをほとんど無視していたケーブルテレビなどが取り上げ始めたことを指摘。報道内容も、デモ参加者が抱える要求や体験に変わってきたとし、「報道の急上昇は、運動に正当性を与え、より多くの人々をウェブサイトで情報を探すよう促す」と伝えています。

2011年10月15日(土)「しんぶん赤旗」

日本共産党発行  
 しんぶん赤旗  
 日刊●月 3,400円  
 日曜版●月 800円

# 日本共産党演説会

日時 11月6日(日)  
 午後 2時~  
 ところ 奈良100年会館  
 市田忠義書記局長

## 逆バランス

国民生活を如何に応援  
担を増やせば受診が減  
するか。これは常に政治  
と言う論理なんです。が、  
に課せられている使命で  
これが結構、行政の奥深  
すが、私が社会人になっ  
くまで浸透しているんで  
からの約三十年を振り  
す。

皆さんの積年の要望が  
返っただけでも、この分  
皆さんの積年の要望が  
野の環境は、給付が減っ  
実って、川西町でも子ど  
て負担が膨らむのみでし  
もの医療費助成が現在入  
院は中学校卒業までにな  
りました。これを通院も  
す。

政府は今般、事実上の  
含めるように議論を進め  
医療保険の免責制度を導  
ているんですが、返答は、  
入して、約二千万円程度  
そうなると思診が容易に  
の保険給付費を減らそう  
なり、通院増により医療  
としていきますよね。平た  
機関が困難を来すので、  
く言えば、皆さんの負担  
よろしくないこの事です。  
を二千万円増やして、  
そう、負担をする事で  
その分、国などの負担を  
抑制されるんで望ましい  
減らすんですが、厚労省  
とする例の考えです。皆  
も認める医療の受診抑制  
さんどう思わはります。  
が一方で生じます。

如何に、医療費の支出

芝和也

川西町議会議員



## 笛の音

せんが、悠久の時をこえ、  
秋風が本当に心地よい  
唐古、鍵遺跡のあの弥生  
この季節、私は畑に行く  
時代にタイムスリップし  
回数も増え、少し長居す  
た気分になりました。

この地で古代の人々は  
どんな生活をしていたの  
りました。さつま芋は行  
どんな生活をしていたの  
く度に掘ると、恥ずかし  
だるうか？どんな気持ち  
げに赤い顔を覗かせてく  
で生きていたのだろうか？  
れ、その瞬間が大好きで  
現在の世の中を想像すら  
す。数日前に撒いた大根  
出来なかったに違いない。  
の芽が素直に整列して出  
そして今を生きる私たち  
てきました。

そんな日々の中、先日  
千年先は想像出来ない。  
素晴らしい出来事があり  
私達は歴史の流れの一瞬  
ました。一人で作業をし  
を生きているにすぎない。  
ているとどこからか横笛  
どなたが吹いていたの  
らしき笛の音が聞こえて  
か分からないけれど、私  
くるではありませんか。  
をひと時でも古代に戻し  
ゆつたりと優しいその音  
てくれたあの笛  
色は唐古、鍵遺跡の辺り  
の音に「有難う」  
から聞こえてきます。私  
と言いたい。

は歴史には詳しくありま

田原本町議会議員

森良子



## 二十二年度の母子 保健事業

るそうです。

平成二十二年度版「保  
歳六カ月健診時「虫歯は  
保健衛生の現況」から母子  
ないが口腔環境が悪い」  
保健事業について報告し  
九三%、「虫歯がある」  
ます。

健康診査等は、四、五ヶ

歯科保健事業では、一

月児乳児健康診査受診率  
九五・三%で要経過観察  
事業で二二%台まで減少  
四六%、一〇ヶ月  
していた歯罹患率が上昇  
児乳児健康相談受診率八  
に転じた事が残念です。  
九・三%で要経過観察五  
歯が萌出した時期に口腔  
四%、一歳六カ月健診  
環境が悪い事が大変心配  
受診率九一・九%で要経  
です。

過観察五一%、三歳六カ  
平成一八年度と比べた  
月児健診受診率九一・四  
ら母子保健担当の保険師  
%で四〇%。大変重要な  
が二人削減されている事、

事業ですが、他市町村の  
歯科衛生士が日々雇用に  
保育所や幼稚園に通う子  
変更された事が事業を影  
どもさんの状況を確認し  
響しているのでしょうか？

田原本町議会議員

吉田 容一



## 自治体キャラバン

れるような町政を」（要

12日、今年の自治体  
旨）と三宅町が抱えてい  
キャラバンが始まりました  
る問題について答弁しま  
た。三宅町への要請には  
した。

実行委員会の山崎事務局  
介護保険の見直しにつ  
長はじめ7名、三宅町か  
いて、「11月から委員  
らは出井副町長、梅本議  
会で検討していく」。国  
長はじめ2名が参加。  
の総合事業計画の導入に

実行委員会の90余項  
については「関係者と協議  
目の説明の後、総務課長  
している」段階で具体的  
は全項目にお答えできな  
なっている状態。今  
いが「自治体の労働者が  
後どのようなものかわ  
多い少ないで復興の度合  
からない状態です。

いが決まる。「防災に  
このほか消防体制につ  
については、自主防災会が  
いても意見交換があり、  
9自治会にできている。  
最後に副町長は「貴重な  
自主防災会の協力を得な  
資料をいただき、検討さ  
から防災計画の見直しを  
せていただきま

年末までには行いたい」  
す」と感想を述  
「高齢者に喜びを与えら  
べていしました。

三宅町 池田 年夫

